

第1回定例採集会・日高町 阿瀬溪谷

1978年8月12日

1978年8月12日、但馬むしの会の第1回定例採集会を、日高町阿瀬溪谷にて行ないました。石田達也、上田尚志、鹿藤知二、大槻秀治、木下賢司、高橋匡・

御夫妻、谷岡晴、谷角素彦、中野真、以上10名の会員のみなさんが参加されました。時刻的にはやや遅いせいか、あまり採集成果はあがらなかったようです。

午前9時過ぎに金谷を出発、めいめいのペースで採集したり、写真を撮りながら歩いて、金山の廃材に全員が着いたのは12時頃。廃材より少し登ったところ（写真）で昼食をとり、その後、3人を除く一行は金山峠へ。オミナエシの咲き乱れた峠の付近には、大幹線林道の子定コースと思われる地点に杭が立てられており、妙見山頂からはブルドーザーの音を響いてきました。近い将来、この峠の風景も一変するでしょう。その時、そこに棲む生き物たちはどうなるのでしょうか....

下りでは、廃材の家屋の軒下に営巣していたスズメバチに、N君が足を刺されて「重傷」というハプニングもあって、近ずしも無事には第1回の定例採集会は幕を閉じなかったようです。残念ながら。



写真左側より、中野氏、高橋さん(奥さん)、木下氏、谷角氏、大槻氏、谷岡氏、石田氏、上田氏、高橋先生。阿瀬溪谷上流部の河畔にて。

1978年8月12日